

道新 129.08.27

みずなら

8月上旬、北見赤十字病院の研修医を激励するイベントがあった。市民と研修医がフォークダンスや焼き肉を楽しみ、和やかに歓談。患者さんや家族を支えるボランティア活動はよく耳にするが、研修医を激励するというのは珍しい。実際、他地域の病院からも問い合わせがあるという。

主催した「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」の谷川勝男代表は「いつか自分たちもお世話になる。つながりを持ち、気持ちよく働いてもらいたい」と話す。

研修医の笑顔

研修医の出身地は道内のほか九州、東京、韓国など。「毎日自宅と病院の往復だけなので楽しい」「こんなに温かく迎え入れてもらえるなんて」と、皆笑顔だった。

谷川代表も「若い人はフォークダンスなんて白けるかと心配したけれど良かった」とほっとした様子。私までうれしくなった。

活動は、10月に北見市内で開催される日赤医学会の全国大会で紹介されること。温かい輪が、北見から各地へ広がることを期待したい。

(権藤泉)